

AXIS Site Designer

目次

最新情報	4
2025年11月	4
AXIS Site Designerについて	5
検討事項	6
Axis Site Designerの使用開始	7
My Axisアカウントを登録する	7
プロジェクトを作成する	7
プロジェクトに装置を追加する	7
マップ表示でのデバイスの追加	7
デバイスをリストに追加する	8
録画デバイスとネットワークデバイスを追加する	9
プロジェクトの管理	10
プロジェクトをフォルダーに追加する	10
プロジェクトを複製する	10
プロジェクトをエクスポートする	10
プロジェクトをファイルとしてエクスポートする	11
プロジェクト設定をVMSにエクスポート	11
プロジェクトをインポートする	11
2つのプロジェクトを統合する	11
プロジェクトをアーカイブする	12
マップでの作業	12
マップコントロールボタンの使用	12
キーボードショートカットの使用	13
デバイスの追加	15
デバイスのグループの追加	19
アクセサリを追加する	20
アプリケーションの追加	20
システムアクセサリを追加する	21
汎用カメラの追加	21
その他の項目を追加する	21
シナリオとスケジュールの管理	22
新しいシナリオを作成する	22
シナリオの編集	22
新しいデフォルトシナリオを設定する	23
シナリオをコピーする	24
新しいスケジュールを作成する	25
スケジュールの編集	25
Zipstreamとストレージ時間設定の定義	26
シナリオまたはスケジュールを削除する	27
レポートとドキュメントの管理	28
販売見積もりを作成する	28
部品表 (BOM) を作成する	28
プロジェクト特別価格設定のリクエスト	28
電力および帯域幅レポートの作成	29
設置レポートを作成する	29
システム提案書の作成	29
ドキュメントのダウンロード	30
詳細情報	31
ローカルプロジェクト	31
デバイスセクター	31
帯域幅、録画、ストレージ	32
帯域幅の概算	32
シナリオ	32

録画とストレージ	34
総所有コストレポート	36
TCOシミュレーター	36
比較	37
トラブルシューティング	38
リリースアーカイブ	39
2025年5月～6月	39
2025年4月	39
2025年1月～3月	39

最新情報

ここではAXIS Site Designerの最新更新に関する情報をご覧ください。以前の更新内容については、[こちら](#)へ移動してください。

2025年11月

- AXIS Audio Manager Proの新しいライセンスモデルを考慮し、AXIS Camera Station Pro録画ソリューションに追加の管理ソフトウェアとしてAXIS Audio Manager Proを追加できるようになりました。
- マップビューにAXIS D4200 Network Strobe Speakerのスピーカーの指向角度を追加しました。



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

このビデオでは、AXIS Site Designerの最新アップデート内容の一部の簡単な概要を紹介しています。

AXIS Site Designerについて

Axis SiteDesignerを使用すると、ニーズに合ったシステムを効率的に計画および設計できます。このツールを使用して、適切な製品を見つけ、サイトの地図やフロアプランに配置し、その範囲を視覚化します。選択した内容に基づいて、ツールは電力、帯域幅、ストレージの概算を行い、適切な録画ソリューションとネットワークソリューションを提案します。最後に、販売見積書の作成、包括的な部品表の作成、サイトメモや推奨事項などの貴重な情報を設置担当者と共有することができます。

このツールの詳しい内容をご覧いただくには、axis.com/support/tools/axis-site-designer に移動し、AXIS SiteDesignerを起動してください。

検討事項

ブラウザーサポート

AXIS SiteDesignerはウェブアプリケーションであり、ほとんどの一般的なウェブブラウザの最新バージョンに対応しています。Windows、macOS、さらにほとんどのタブレットデバイスからアクセスすることができます。このツールは携帯電話には対応していません。

データストレージ

Axis SiteDesignerで作成したプロジェクトは、ブラウザのローカルストレージを使用して、コンピューターまたはタブレットにローカルに保存されます。各ブラウザには独自のストレージがあるため、複数のブラウザで作業している場合、プロジェクトのリストが異なる可能性があることに留意してください。

サインインしてプロジェクトをオンラインで同期し、保存することをお勧めします。サインインすると、複数のデバイスやブラウザからプロジェクトで作業することもできます。MyAxisアカウントでサインインします。

オフライン作業

Axis SiteDesignerでは、ブラウザからいつでもオフラインで作業できます。オンラインに戻ると、プロジェクトはAxis SiteDesignerのサーバーと同期化されます。オフラインでのみ作業する場合は、ローカルでのみ利用可能なプロジェクトを作成できます。詳細については、を参照してください。

Axis Site Designerの使用開始


Axis SiteDesignerでプロジェクトを素早く開始するには、以下の手順をしたがうことをお勧めします：

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
5. 販売見積書や部品表などのレポートを作成します。詳細については、を参照してください。

My Axisアカウントを登録する


1. axis.com/my-axis/loginでMy Axisアカウントを登録します。
2. 多要素認証 (MFA) 方法として認証アプリ (TOTP) またはEメールのいずれか1つを選択し、画面に表示される指示に従います。MFAは、ユーザーの本人確認のためのさらなるレイヤーを追加するセキュリティシステムです。

プロジェクトを作成する

1. Axis SiteDesignerで、プロジェクトを追加をクリックします。
プロジェクトを同期して保存できるようにするには、マイプロジェクトページでプロジェクトを作成します。
2. プロジェクトのオーバービュー に、プロジェクトの名前、プロジェクトの対象者、メモなどの詳細を入力します。
3.  ロケーションをクリックして、サイトのロケーションを設定します。

注

プロジェクトが設置される国または地域で、正しい国または地域を選択してください。このフィールドは、見積書や部品表に追加される製品番号に影響します。

4.  設定をクリックして、設置高さを設定し、希望する地域単位と温度スケールを選択し、電力計算の基準となるものを選択します。
5. プロジェクトのシナリオを変更または新規追加するには、を参照ください。
シナリオ設定は、プロジェクトのカメラに必要なストレージと帯域幅の概算に役立ちます。
6. カメラやその他のデバイスをプロジェクトに追加するには、マップページまたはデバイスページに移動します。詳細については、を参照してください。

プロジェクトに装置を追加する


プロジェクトにデバイスを追加するには、2通りの方法があります。フロアプランがある場合は、ツールのマップ表示でインポートし、プランに直接デバイスを追加することをお勧めします。必要なすべてのデバイスをリストに追加し、後でフロアプランに追加することもできます。

マップ表示でのデバイスの追加


マップ画像にデバイスを追加するには、マップに直接デバイスを追加するか、フロアプランをアップロードしてからデバイスをプランに追加します。

フロアプランの追加:

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. マップページに移動します。

3.  をクリックしてファイルを選択し、アップロードします。
Axis SiteDesignerは、最大サイズ10 MBのPNG、JPG、JPEG、PDFファイルのアップロードをサポートしています。
4. 名前を入力し、**フロアプランの追加**をクリックします。
5. フロアプランの縮尺を設定します。

マップまたはフロアプランにデバイスを追加する：

1. マップの横にあるメニューで、追加するデバイスタイプのタブに移動します。
この手順では、カメラタブを例に説明します。
2.  をクリックしてドラッグし、マップ上に汎用カメラを配置します。
追加するカメラがすでに決まっている場合は、**[Camera (カメラ)]** をクリックし、ドロップダウンリストから直接モデルを選択します。
3. マップ上でカメラをクリックして追加し、設定を編集します。例：
 - カメラをクリックしてドラッグし、移動させる
 - アンカーポイントをクリックしてドラッグし、ビューを回転させて撮影範囲を調整する
 - マップの横のメニューで詳細を設定する
4. カメラモデルを選択するには、マップ上でカメラをクリックし、マップの横のメニューでカメラのアイコンをクリックしてデバイスセクターを開きます。詳細については、を参照してください。

注


追加したカメラにはデフォルトのシナリオが割り当てられます。シナリオの詳細については、を参照してください。

地図表示で利用できるコントロールボタンの詳細については、を参照してください。

デバイスをリストに追加する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. **[Devices (デバイス)]** ページに移動します。
3. **デバイスを追加**をクリックして、デバイスセクターに移動します。
追加するデバイス名がすでにわかっている場合は、**[Quick add a device (デバイスをクイック追加)]** をクリックして直接追加できます。
4. 右上のメニューから追加するデバイスのタイプを選択します：**カメラ、F/FAシリーズ、エンコーダ...**
5. フィルターを使用して、サイトの要件を定義します。詳細については、を参照してください。
6. **おすすめの製品の一覧、または一致する製品の一覧**からモデルを選択します。

注

- デバイスの仕様を確認するには、 **データシート**をクリックして、デバイスのデータシートをダウンロードしてください。
 - 製造中止のデバイスを適合製品リストに含めるには、**製造中止のデバイスを含む**に切り替えます。
7. **追加** をクリックし、デバイスをプロジェクトに追加します。
モデルを後で追加する場合は、**後にモデルを選択する**を選択し、**追加** をクリックします。
指定した要件が保存されます。
 8. デバイスをさらに追加するには、この手順を繰り返します。

注

追加したカメラにはデフォルトのシナリオが割り当てられます。シナリオの詳細については、を参照してください。

録画デバイスとネットワークデバイスを追加する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. [Recording (録画)] に移動します。
3. **ソリューションを選択する** で、希望のベンダーを選択します。
4. AxisまたはGenetecを選択すると、プロジェクトの概算要件に基づいて、録画、ストレージ、電源の推奨ソリューションが提供されます。ソリューションをクリックして選択します。
5. 独自のソリューションを設計するには、サーバー、端末、スイッチ、ライセンスのリストからデバイスを選択して追加します。
 オーバービューは、選択したデバイスがプロジェクトの推定要件を満たしているかどうか、またはデバイスを追加する必要があるかどうかを示します。

選択したソリューションやデバイスは、利用可能なライセンス、サーバー容量、ストレージオプション、利用可能なポートやPoEの仕様に関する情報とともにプロジェクトに追加されます。

プロジェクトの管理

プロジェクトをフォルダーに追加する

プロジェクトをフォルダーに追加して整理することができます。

プロジェクトの作成とフォルダーへの追加：

1. Axis SiteDesignerのプロジェクトリストに移動します。
2. フォルダーを作成するには、[Add folder (フォルダーの追加)] をクリックします。
3. フォルダーの名前を指定し、[Add (追加)] をクリックします。
4. 既存のプロジェクトをフォルダーに移動する方法は、次の3つです。
 - 4.1. プロジェクトを1つずつフォルダーにドラッグアンドドロップします。
 - 4.2. チェックボックスを使用して複数のプロジェクトを選択し、フォルダーにドラッグアンドドロップします。
 - 4.3. チェックボックスを使用して1つまたは複数のプロジェクトを選択し、[Move (移動)] をクリックし、移動先のフォルダーを選択します。

プロジェクトをMy Projects (マイプロジェクト)に戻す：


1. 選択したフォルダーに移動します。
2. プロジェクトをフォルダーから移動する方法は、次の3つです。
 - 2.1. プロジェクトを1つずつドラッグして、[My Projects (マイプロジェクト)] にドロップします。
 - 2.2. チェックボックスを使用して複数のプロジェクトを選択し、[My Projects (マイプロジェクト)] にドラッグアンドドロップします。
 - 2.3. チェックボックスを使用して1つまたは複数のプロジェクトを選択し、[Move (移動)] をクリックし、[My Projects (マイプロジェクト)] に移動します。



このビデオでは、フォルダを追加してプロジェクトを整理する方法を紹介しています。

プロジェクトを複製する

保存時間を短縮するために、新規プロジェクトをゼロから作成する代わりに、既存のプロジェクトを複製することができます。

1. Axis SiteDesignerのプロジェクトリストに移動します。
2.  をクリックして、複製するプロジェクトのドロップダウンメニューを開きます。
3. **複製** をクリックします。
4. 複製したプロジェクトの新しい名前を入力します。

プロジェクトをエクスポートする


AXIS Site Designerプロジェクトをエクスポートして、バックアップや共有を行ったり、プロジェクト設定をVMSにインポートしたりできます。

プロジェクトをファイルとしてエクスポートする

バックアップを作成したり、プロジェクトを他のユーザーと共有したりするには、プロジェクトをファイルとしてエクスポートします。一度に1つのプロジェクトをエクスポートすることも、複数のプロジェクトを同時にエクスポートすることもできます。

1. Axis SiteDesignerのプロジェクトリストに移動します。

1つのプロジェクトをエクスポート：

2.  をクリックして、エクスポートするプロジェクトのドロップダウンメニューを開きます。
3. プロジェクトをエクスポートをクリックします。
4. プロジェクトファイルをダウンロード


1つまたは複数のプロジェクトをエクスポート：

5. エクスポートするプロジェクトにチェックを入れて選択します。
6. [エクスポート] をクリックします。

プロジェクトは .asdpdx プロジェクト ファイルとしてエクスポートされ、コンピューターの ダウンロード フォルダで利用できるようになります。

プロジェクト設定をVMSにエクスポート

プロジェクトが完了したら、AXIS Site Designer からプロジェクト設定をエクスポートし、AXIS Optimizer を使用して AXIS Camera Station または Milestone Xprotect にインポートできます。

1. Axis SiteDesignerのプロジェクトリストに移動します。
2. エクスポートするプロジェクトを選択します。
3.  をクリックして、エクスポートするプロジェクトのドロップダウンメニューを開きます。
4. プロジェクトをエクスポートをクリックします。
5. VMSがインターネットに接続されている場合は、コードの生成 をクリックして、設定のスナップショットをオンラインで作成します。設定をインポートするには、AXIS CameraStationまたはAXIS Optimizerにコードを入力します。
6. VMSがオフラインで動作している場合は、設定ファイルのダウンロードをクリックし、ファイルをAXIS Camera Station または AXIS Optimizerにインポートします。

プロジェクトをインポートする

1. Axis SiteDesignerで、プロジェクトをインポートをクリックします。
2. インポートするプロジェクトファイルを選択します。

注

AXIS SiteDesignerプロジェクトのファイルエンドは、新しいプロジェクトでは.asdpx、古いプロジェクトでは.asdpです。

インポートが完了すると、プロジェクトはリストの一番上に表示されます。

2つのプロジェクトを統合する

既存のプロジェクトを別のプロジェクトにインポートすることで、2つのプロジェクトを1つに統合することができます。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトオーバービューで、プロジェクトからインポート をクリックします。

注

プロジェクトを別のプロジェクトにインポートすると、元に戻すことはできません。このため、オプション **インポートする前にこのプロジェクトをバックアップする** を選択することが推奨されています。

3. 既存のプロジェクトファイルをインポートする場合は、**ファイルを選択**をクリックします。
4. 現在のプロジェクトリストからプロジェクトをインポートする場合は、**プロジェクトの選択**をクリックします。


インポートが完了したら、統合したプロジェクトで作業を始めることができます。

プロジェクトをアーカイブする

プロジェクトのリストが長い場合や、読み込みに時間のかかる大規模なプロジェクトが多数ある場合は、それらをアーカイブできます。一度に1つのプロジェクトをアーカイブすることも、複数のプロジェクトを同時にアーカイブすることもできます。

1. Axis SiteDesignerのプロジェクトリストに移動します。

1つのプロジェクトをアーカイブする：

2.  をクリックして、アーカイブするプロジェクトのドロップダウンメニューを開きます。
3. **アーカイブ** をクリックします。

1つまたは複数のプロジェクトをアーカイブする：

4. アーカイブするプロジェクトにチェックを入れて選択します。
5. **アーカイブ** をクリックします。

アーカイブされたプロジェクトを表示または非表示にするには、**アーカイブしたプロジェクトを表示する**に切り替えます。

マップでの作業

マップページでは、マップやフロアプランにデバイスを追加してその撮影範囲を視覚化したり、マップにフィルターやブロッカーを追加したり、デバイスの一部の設定を調整したりすることができます。


マップコントロールボタンの使用


マップやフロアプランでは、次のコントロールボタンを使用できます。


: クリックすると新しいフロアプランをアップロードできます。フロアプランは新しいタブに追加されます。


注


フロアプランのファイル形式は、PNG、JPG、JPEF、PDFに対応しています。フロアプランの最大ファイルサイズは10MBです。


: クリックすると、マップやフロアプランの使用方法に関するビデオが表示され、使用可能なキーボードショートカットの詳細を確認できます。

: クリックするとGoogleマップでプリセット位置を追加できます。マップタブで使用可能です。


: クリックすると、マップ内のフロアプランの不透明度を調整できます。マップタブにフロアプランを追加した場合に利用できます。


 **マップに追加**: クリックすると、フロアプランがマップに追加されます。フロアプランをアップロードすると利用できます。

 **設定**: クリックすると、フロアプランの設定を編集できます（例えば、名称の変更や縮尺の編集など）。フロアプランをアップロードすると利用できます。


: クリックすると、マップまたはフロアプランにフィルターが追加されます。たとえば、デバイスの色を選択し、表示または非表示にする情報の種類を選択します。


: クリックするとマップまたはフロアプランが拡大表示されます。

: クリックするとマップまたはフロアプランが縮小表示されます。


: クリックするとマップまたはフロアプランにテキストボックスが追加されます。



: クリックするとマップまたはフロアプランがマップビューに合わせて拡大縮小されます。

: クリックすると、マップまたはフロアプランにブロッカーの描画が開始されます。ブロッカーは、壁や通路など、シーン内の固体オブジェクトを表します。

: クリックするとブロッカーを編集できます。

: クリックするとブロッカーを削除できます。

: クリックすると測定ツールが切り替わります。たとえば、ケーブル管理を容易にするために、マップやフロアプランで距離を測定できます。

 : クリックすると、マップまたはフロアプラン内の DORI ピクセルゾーンが切り替わります。

: クリックすると、マップまたはフロアプランのコピーを印刷できます。

キーボードショートカットの使用

マップとフロアプランで作業する際は、次のキーボードショートカットを使用することができます：

概要	
元に戻す	PC: CTRL + Z Mac: ⌘ + Z
再度実行	PC: CTRL + Y Mac: ⌘ + Y

デバイス	
選択したデバイスをマップに追加します。 カーソルの位置にデバイスが追加されます。	A
デバイスの数を増やす	PC: ALT + クリックしてドラッグ Mac: ⌘ + クリックしてドラッグ
デバイスの複製	PC: CONTROL + ALT + クリックしてドラッグ Mac: ⌘ + ⌘ + クリックしてドラッグ
デバイスをマップから削除する	PC: DELETE Mac: fn + ⌫
マップ上でデバイスを移動する	↑ ↓ ← →
デバイスを回転する	SHIFT + ↑ ↓ ← →
複数デバイスの選択	SHIFT + クリック

ブロッカー	
ブロッカーツールを切り替えます。 マップをクリックして描画を開始し、もう一度クリックしてポイントを追加します。	B
ブロッカーの描画を完了する	入力
ブロッカー描画をキャンセルする	ESCAPE
15° 回転	Shift

測定ボックス	
測定ツールを切り替えます。 マップをクリックして測定を開始し、もう一度クリックしてポイントを追加します。	M
測定の完了	入力
測定のキャンセル	ESCAPE

テキスト	
カーソルの位置にテキストボックスを追加する	T
テキストの記入を完了する	入力

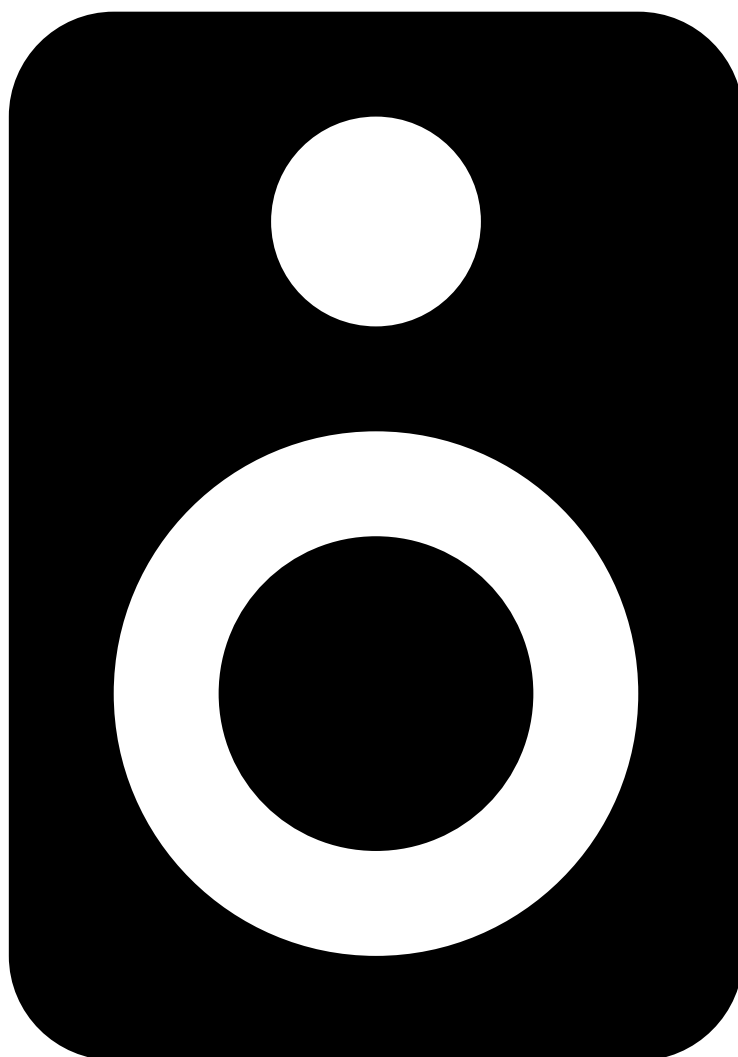
DORI	
DORIピクセルゾーンのオン/オフ切り替え	D

デバイスの追加

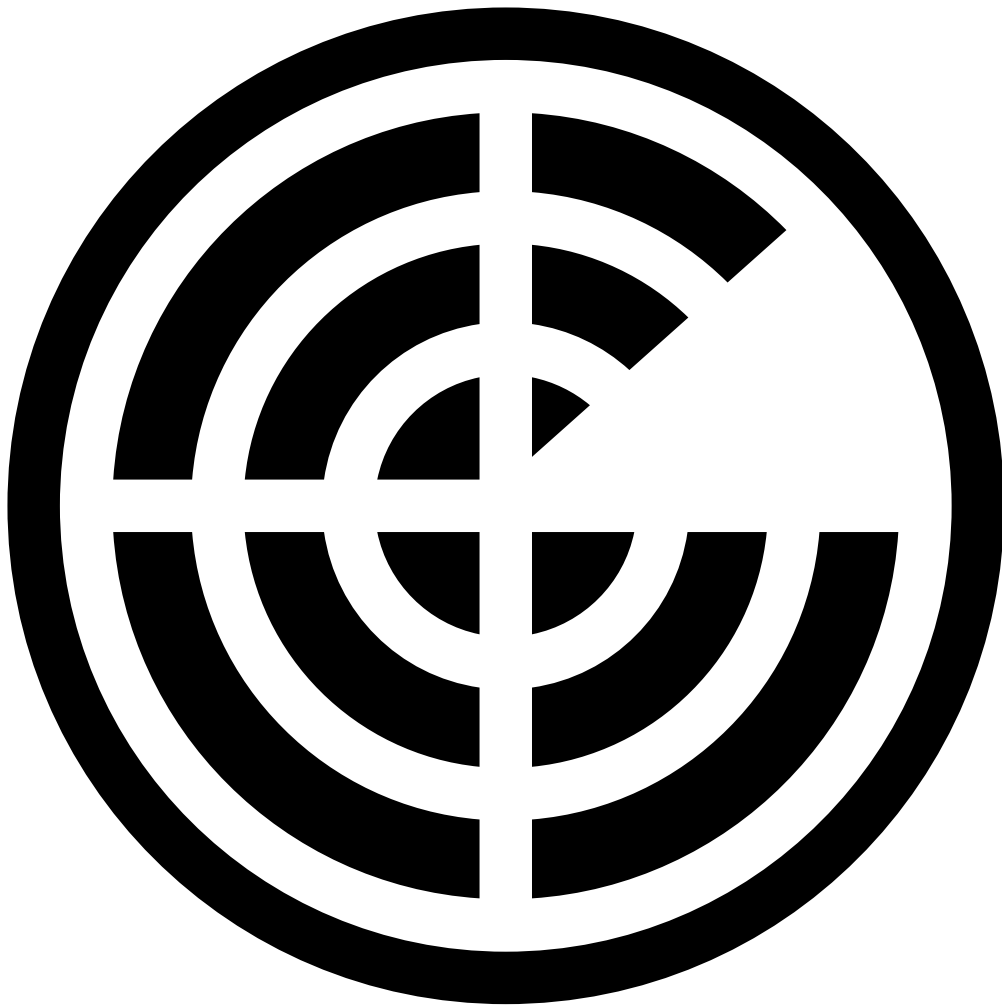
マップとフロアプランの隣には、デバイスを追加したりデバイス設定の一部を調整したりするためのメニューがあります。



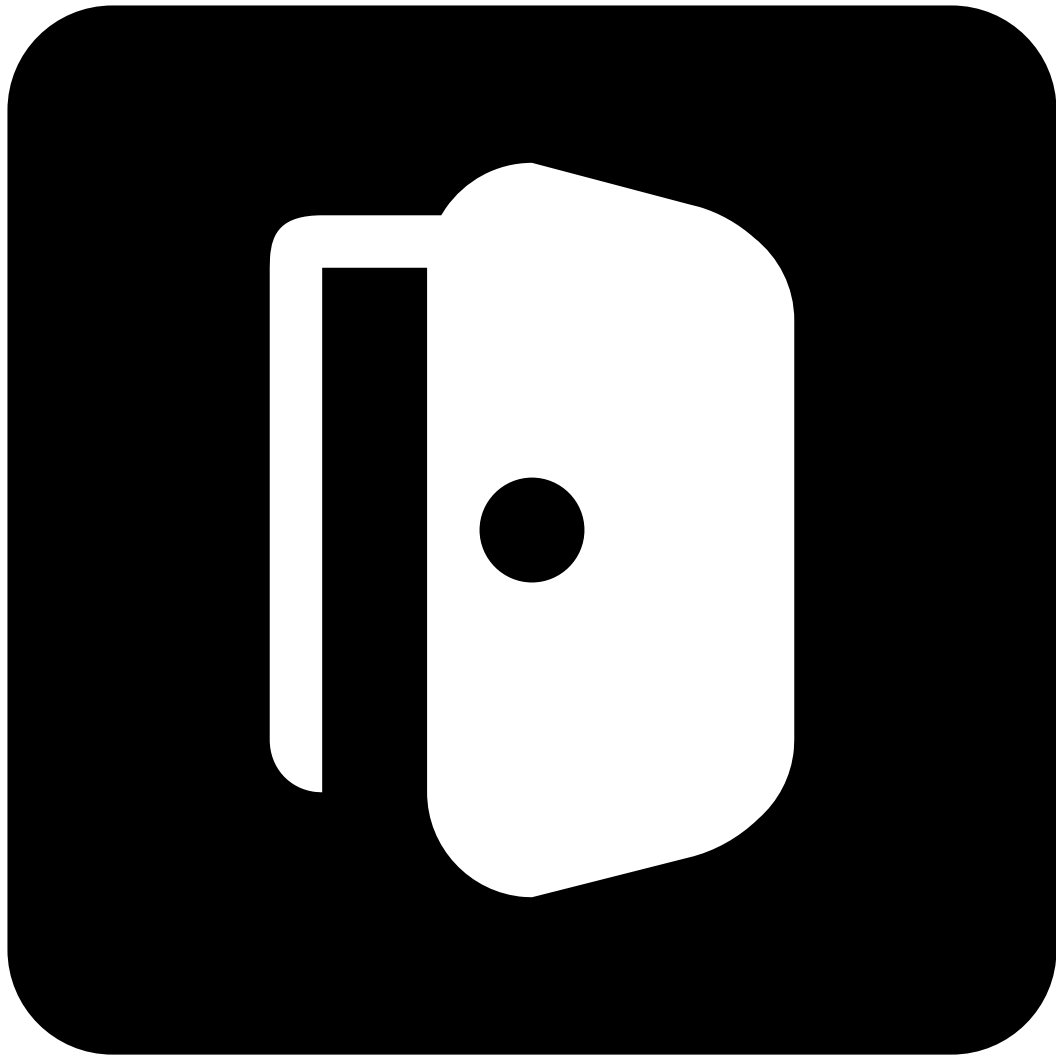
: クリックすると、カメラやカメラ内蔵インターコムを選択できるカメラタブに移動します。



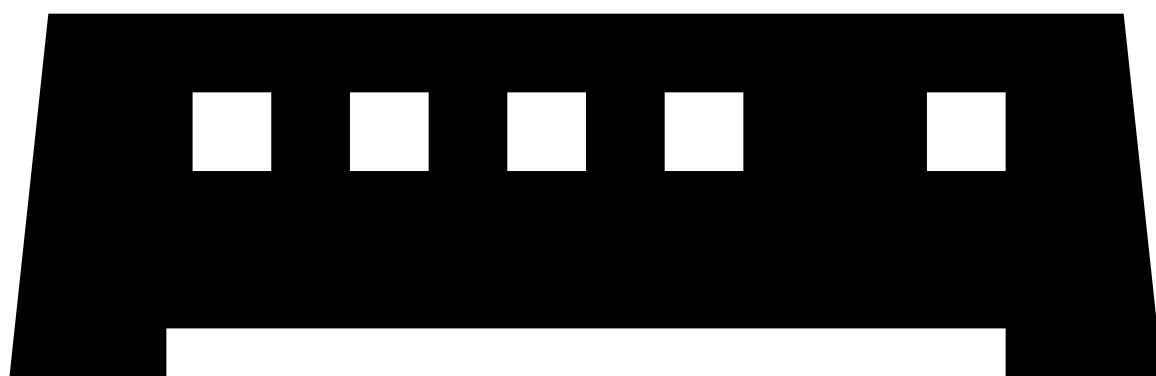
: クリックするとスピーカータブに移動します。



: クリックするとレーダータブに移動します。



: クリックするとドアコントローラータブに移動します。



: クリックするとモジュラー型カメラに移動します。

...: クリックすると、他の種類のデバイスを選択できるタブに移動します。

デバイスをマップまたはフロアプランに追加する方法の詳細については、を参照してください。

デバイスのグループの追加

同じモデルのデバイスをグループ化できます。この機能は、デバイスが同じ設定を共有する場合に便利です。これにより、各デバイスとその設定を個別に追加する必要がなくなります。

[Devices (デバイス)] ページまたは **[Maps (マップ)]** ページのリストで、デバイスをグループ化できます。

グループ化したデバイスは、カラー、マウントオプション、アクセサリ、アプリケーションを共有します。カメラをグループ化すると、それらのカメラは同じシナリオとピクセル密度も共有します。固有の名前やメモの追加、固有の設置高さや目標高さの設定のオプションがあります (デバイスが対応している場合)。

[Device (デバイス)] ページでデバイスのグループを追加する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。

2. [Devices (デバイス)] ページに移動します。
3. デバイスをリストに追加します。手順については、を参照してください。
4. [Quantity (数量)] の数を増やします。

[Maps (マップ)] ページでデバイスのグループを追加する

1. マップページに移動します。

注

[Devices (デバイス)] ページですでにデバイスグループを追加している場合、マップの横にあるメニューの [Not on map (マップに表示されていない)] の下のデバイスアイコンでそれらを見つけることができます。


マップに新規のデバイスを追加する場合は、まずの手順に従ってデバイスを選択します。

2. デバイスアイコンをクリックして、マップ上にドラッグします。名前の横にある番号は、そのデバイスがグループに属していることを示しています。
3. 数量を増やすには、もう一度デバイスアイコンをクリックしてマップ上にドラッグします。
キーボードのショートカットを使用してグループ化したデバイスをマップ上に配置することもできます。PCの場合はALT + クリック & ドラッグ、Macの場合は⌘ + クリック & ドラッグを使用します。




このビデオでは、Device (デバイス) ページおよびMaps (マップ) ページで同じモデルのデバイスをグループ化する方法を説明しています。

アクセサリーを追加する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. デバイス またはマップページに移動し、アクセサリーを追加するデバイスを選択します。
3. アクセサリータブを開くには、 をクリックします。
4. デバイスの配置を選択します。
屋内使用のみに推奨されるマウントを除外するには、**屋外フィルター**をオンにしてください。
5. AXIS Site Designer は、互換性のあるプライマリ マウントと、必要に応じて追加のマウントアクセサリを提案します。代替方法については、プライマリマウントまたはマウントアクセサリをクリックしてください。
6. デバイスまたはマウントの追加アクセサリーを選択するには、**+** アクセサリーをクリックします。

アプリケーションの追加

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. デバイス またはマップページに移動し、アプリケーションを追加するデバイスを選択します。
3. アプリケーションタブを開くには、 をクリックします。
4. 一覧から1つ以上の互換性のある分析アプリケーションを選択します。

注

含むとマークされているアプリケーションは、プリインストールまたはダウンロードにより、追加料金なしで利用できます。含まれているアプリケーションは、販売見積または部品表に追加されません。

システムアクセサリを追加する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. アクセサリーページに移動します。
3. アクセサリーのカテゴリを選択するか、**すべてのアクセサリー**を選択します。アクセサリーの名前を知っている場合は、検索フィールドで検索することができます。
4. アクセサリーを追加するには、**追加**をクリックします。
5. 必要に応じて数量を調節します。


汎用カメラの追加

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. [Devices (デバイス)] ページに移動します。
3. [+ Add device (装置を追加)] をクリックします。
4. [Cameras (カメラ)] タブで [Pick model later (後でモデルを選択する)] を選択し、[Add (追加)] をクリックします。
5. [Devices (デバイス)] ページに戻ります。
6. 追加したカメラのアイコンをクリックします。
7. [Overview (概要)] タブで、[Generic camera (汎用カメラ)] を有効にします。
8. 汎用カメラに関連する設定を追加します。

その他の項目を追加する

他のベンダーのアクセサリや、販売見積または部品表に必要なその他のアイテムを追加できます。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. **その他**ページに移動します。
3. アイテムの次の詳細を入力または選択します：名称、ベンダー、製品番号、カテゴリ、数量
4. **マイ・アイテムの追加**をクリックします。

アイテムを編集するには、編集する値を選択します。投稿を複製または削除するには、 をクリックしてドロップダウンメニューにアクセスします。

シナリオとスケジュールの管理

シナリオを使用して、プロジェクトのカメラのストレージと帯域幅の概算に必要な設定を定義します。

Axis SiteDesignerで新規プロジェクトを作成する場合、2つのデフォルトシナリオがあります。星印の付いたシナリオがデバイスに割り当てられます。新しいシナリオを作成したり、既存のシナリオを編集したり、必要に応じてデバイスに割り当てることができます。シナリオに含まれる項目と定義方法については、をご覧ください。

特定の時間帯に録画する場合は、[Schedules (スケジュール)] を使用します。Axis Site Designerにはデフォルトのスケジュールが 1 つあり、必要に応じて新しいスケジュールを作成できます。

新しいシナリオを作成する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトのオーバービュー ページで、シナリオの追加 をクリックします。
3. シナリオ名を追加します。
4. シーンを選択し、必要に応じて光条件を調整します。
5. 録画、Zipstream、ストレージの設定など、必要に応じてデフォルト設定を調整します。

注

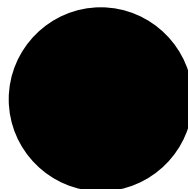
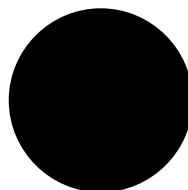
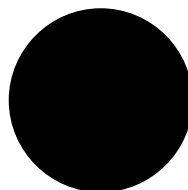
シナリオで定義できる設定の詳細については、を参照してください。

6. 完了したら、閉じる をクリックします。

シナリオの編集

シナリオの編集には、シナリオに割り当てる全てのカメラの設定を編集する方法と、特定のカメラの設定を編集する方法があります。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. シナリオの設定を開きます。
 - 2.1. すべてのカメラの場合:[Project overview (プロジェクトオーバービュー)] ページへ進み、編集するシナリオをクリックします。



をクリックし、ドロップダウンメニューからシナリオの編集を選択することもできます。

- 2.2. 特定のカメラの場合:[Devices (デバイス)] に移動し、シナリオをクリックし、[Edit scenario... (シナリオを編集...)] をクリックします。
3. 必要に応じてシナリオ設定を編集します。

注

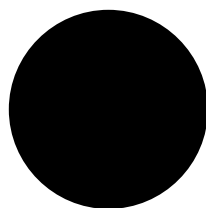
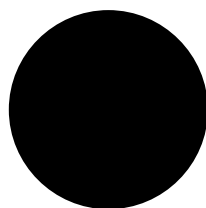
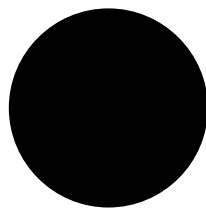
シナリオで定義できる設定の詳細については、を参照してください。

4. 完了したら、閉じる をクリックします。変更は自動的に保存されます。

新しいデフォルトシナリオを設定する

デフォルト設定したシナリオは、プロジェクトに追加する新規カメラごとに割り当てられます。

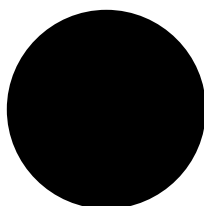
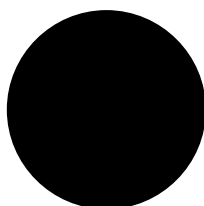
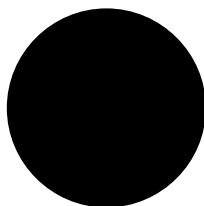
1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトオーバービューページで、デフォルトとして設定するシナリオに移動します。
3. ☆ をクリックすると、デフォルト設定になります。



をクリックし、ドロップダウンメニューからデフォルトに設定を選択することもできます。

シナリオをコピーする

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトオーバービューページで、コピーするシナリオに移動します。



3. メニューをクリックし、複製を選択します。

同じ設定を持つ新しいシナリオが作成されます。

新しいスケジュールを作成する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトのオーバービュー ページで、スケジュールの追加 をクリックします。
3. 編集するスケジュールの名前をクリックします。
4. タイムライン上のアンカーポイントを動かして時間を調整します。
5. スケジュールがアクティブである日を指定します。
6. 完了したら、閉じる をクリックします。

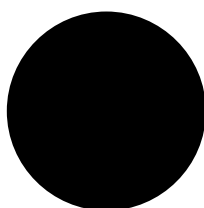
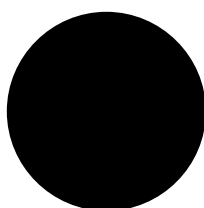
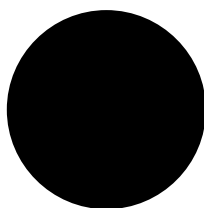
スケジュールの編集

注

スケジュールを編集すると、そのスケジュールが使用されている全てのシナリオが更新されます。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。

2. プロジェクトオーバービューページで、編集するスケジュールをクリックします。



をクリックし、ドロップダウンメニューからスケジュールの編集を選択することもできます。

3. 必要に応じてスケジュール名、時間、日数を編集します。
4. 完了したら、閉じる をクリックします。変更は自動的に保存されます。

Zipstreamとストレージ時間設定の定義

プロジェクトのZipstreamと保存時間の設定を定義する方法は2つあります。プロジェクト全体の設定を定義することも、個々のシナリオの設定を定義することもできます。

注

Zipstreamがどのように機能するかに関する詳細については、ホワイトペーパー *Axis Zipstream テクノロジー* をご覧ください。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトオーバービュー ページに移動します。

プロジェクト設定の定義：

3. すべてのプロジェクトのZipstream設定を定義するには、プロジェクトのZipstream設定のスライダーのアンカーポイントを移動します。

4. ストレージ時間を定義するには、プロジェクトストレージ時間eで日数を調整します。

シナリオ固有の設定を定義する：

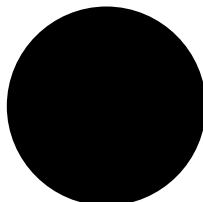
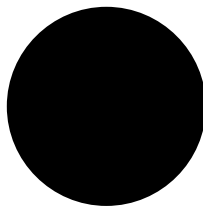
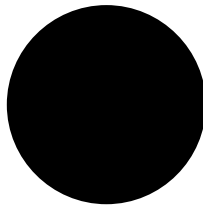
5. 編集するシナリオをクリックします。
6. Zipstreamに移動し、プロジェクト設定を使用するをオフにします。
7. 強度、ダイナミックGOP、最小フレーム/秒など、必要なZipstream設定を選択します。
8. ストレージに移動し、プロジェクト設定を使用するをオフにします。
9. ストレージタイムの日数を調整します。

シナリオまたはスケジュールを削除する

重要

カメラに割り当てられたシナリオ (デフォルトのシナリオを含む) は削除できません。また、シナリオで使用されているスケジュールは削除できません。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. プロジェクトオーバービューページで、削除するシナリオまたはスケジュールを見つけます。
- 3.



をクリックし、ドロップダウンメニューから削除をクリックします。


レポートとドキュメントの管理

販売見積もりを作成する

セールス見積もりを使用すると、見積もりをエンドカスタマーに送信する前に、部品表を確認し、見積もり額を編集できます。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. レポートページに移動します。

注


プロジェクトオーバービューからもレポートにアクセスできます。プロジェクトの横にある  をクリックし、**レポートの表示**を選択します。

3. セールス見積もりのプレビューを取得するには、**セールス見積もり**タブをクリックします。
4. 見積価格、ロゴ、ヘッダー、有効期限などの詳細を追加します。
5. 送信時に表示される詳細を確認するには、**販売見積を表示**をクリックします。
6. 見積書を編集するには、**見積書の編集**をクリックします。
7. 完了したら、**プロジェクトをロック**をクリックします。
8. 見積をExcelファイルとしてダウンロードするには、**Excelへエクスポート**をクリックします。
9. 見積のコピーを印刷する、またはPDFファイルとして保存するには、**印刷**をクリックします。

部品表 (BOM) を作成する

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. レポート ページに移動し、**部品表**タブをクリックします。

注

プロジェクトオーバービューからもレポートにアクセスできます。プロジェクトの横にある  をクリックし、**レポートの表示**を選択します。


3. プロジェクトの特別価格設定用に部品表 (BOM) を提出するなどの目的で、部品表 (BOM) をJSON形式のファイルとしてダウンロードするには、次の2つのオプションがあります。
 - 3.1. AxisパートナーWebにアクセスできる場合は、**[Request project pricing (プロジェクト特別価格設定をリクエスト)]** をクリックしてください。詳しい手順については、[を参照してください](#)。
 - 3.2. AxisパートナーWebにアクセスできない場合は、**[Export BOM file (BOMファイルをエクスポート)]** をクリックしてファイルをダウンロードします。
4. BOMをExcelファイルとしてダウンロードするには、**[Export to Excel (Excelへエクスポート)]** をクリックします。
5. BOMのコピーを印刷する、またはPDFファイルとして保存するには、**[Print (印刷)]** をクリックします。

プロジェクト特別価格設定のリクエスト

プロジェクトの特別価格をリクエストする際に、部品表 (BOM) をダウンロードして送信できます。必要なアクセス権があれば、Axis Project Pricing ToolにBOMを直接含めることができます。BOMをダウンロードして別途送信することもできます。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. レポート ページに移動し、**部品表**タブをクリックします。

注

プロジェクトオーバービューからもレポートにアクセスできます。プロジェクトの横にある  をクリックし、**レポートの表示**を選択します。

3. 右上の [Request project pricing (プロジェクト特別価格設定のリクエスト)] をクリックします。

AxisパートナーWebから直接リクエストを送信する場合:

4. [Open Axis Project Pricing Tool (Axis Project Pricing Toolを開く)] をクリックします。
5. プロジェクトの詳細を入力して送信します。BOMファイルは自動的に添付されます。

ディストリビューターを通じてリクエストを送信する場合:

6. [Download the BOM file (BOMファイルをダウンロード)] をクリックし、ディストリビューターにリクエストを送信する際にファイルを添付します。


電力および帯域幅レポートの作成

重要

レポートの生成電力、帯域幅、ストレージの値は、あくまでも概算です。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. **レポート** ページに移動し、**電力と帯域幅**タブをクリックします。

注

プロジェクトオーバービューからもレポートにアクセスできます。プロジェクトの横にある  をクリックし、**レポートの表示**を選択します。


3. 電力と帯域幅のレポートをExcelファイルとしてダウンロードするには、**Excelへエクスポート**をクリックします。
4. 電力および帯域幅レポートのコピーを印刷する、またはPDFファイルとして保存するには、**印刷** をクリックします。

設置レポートを作成する

インストールレポートには、インストールするデバイスの数、予測される必要なストレージと帯域幅、およびサイトに設定されたスケジュールの概要が記載されます。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. **レポート** ページに移動し、**設置レポート**タブをクリックします。

注

プロジェクトオーバービューからもレポートにアクセスできます。プロジェクトの横にある  をクリックし、**レポートの表示**を選択します。

3. 設置担当者にメモを追加するには、**Notes**に入力します。
4. レポートにデバイスを表示する方法を変更するには、**デバイスごとに1ページ** を切り替えます。
5. レポートの並べ替え順序を変更するには、**並べ替え...** をクリックし、デバイスに付けた名前前で並べ替えるか、モデル名で並べ替えるかを選択します。
6. 設置レポートのコピーを印刷する、またはPDFファイルとして保存するには、**印刷** をクリックします。


システム提案書の作成

システム提案書には、デバイスの説明、フロアプラン、スケジュール、帯域幅、ストレージ、受電側装置の要件など、プロジェクトのオーバービュー全体が記載されています。

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。

2. レポートページに移動し、システム提案書タブをクリックします。

注

プロジェクトオーバービューからもレポートにアクセスできます。プロジェクトの横にある  をクリックし、レポートの表示を選択します。

3. システム提案書のコピーを印刷する、またはPDFファイルとして保存するには、印刷 をクリックします。

ドキュメントのダウンロード

プロジェクトで使用するデバイスのデータシートは、簡単にダウンロードできます。Axis Architecture & Engineering (A&E) プログラムに参加している場合は、追加のドキュメントをダウンロードすることもできます。

データシートのダウンロード:

1. Axis SiteDesignerでプロジェクトを開きます。
2. ドキュメントページに移動します。
3. 個々のデータシートをダウンロードするには、ダウンロードをクリックしてください。
4. 複数のデバイスのデータシートをダウンロードするには、対象のデバイスを選択するか、すべて選択にチェックマークを入れて、選択したものをダウンロードをクリックしてください。

追加書類のダウンロード (A&Eプログラム) :

1. AXIS Specification Compilerで、仕様書のダウンロードをクリックします。
2. ログインし、A&E Mediaに移動すると、利用可能なすべての文書が見つかります。

詳細情報

ローカルプロジェクト

AXIS Site Designerのローカルプロジェクトは、オフラインで作業でき、プロジェクトはクラウドと同期されません。ただし、AXIS Site Designerでオフライン作業するためには、いったんオンラインにして使用する必要があります。

ローカルプロジェクトはブラウザのローカルストレージでのみ利用可能で、オンラインで同期化または保存されることはありません。プライベートブラウジングモードの使用や閲覧データの消去を行うと、ローカルプロジェクトが削除され、復元できなくなるため注意してください。作業内容を失わないために、ローカルプロジェクトをエクスポートして定期的にバックアップしてください。この場合、使用するデバイスとブラウザにアクセスできる人は誰でもプロジェクトを見ることができるということに注意する必要があります。このため、公共のコンピューターや共有のコンピューターでローカルプロジェクトを作成しないように注意してください。

ローカルプロジェクトを作成するには、Axis Site Designerを開き、 ローカルプロジェクトに移動します。

デバイスセクター

AXIS Site Designerは、プロジェクトの要件に適したデバイスの選択をサポートします。デバイスセクターは、**Devices (デバイス)** ページからアクセスできます。または**Maps (マップ)** ページでデバイスを追加すると表示されます。

セクターは、検索するデバイスの種類によって異なります。セクターには以下の種類があり、それぞれ別のタブで表示されます。

- カメラ
- F/FAシリーズ
- エンコーダ
- スピーカー
- アクセスコントロール
- ウェアラブル
- その他

すべての種類のデバイスについて、特徴や機能でフィルタリングして検索結果を絞り込むことができます。適用できるフィルターの例としては、デバイスが音声に対応しているか、持続可能性機能があるか、屋外対応かどうかなどがあります。

注

販売終了製品は検索結果に含まれません。販売終了製品を含めるには、**[Include discontinued (販売終了製品を含める)]** を有効にします。

デバイスの仕様

デバイスの種類によっては、選択前または選択後に追加機能があります。

- **カメラ**: フィルターに加え、シーンの要件を追加して最適なカメラを見つけることができます。また、カメラの視野角とカバレッジパターンを3Dで可視化することもできます。
- **F/FAシリーズ**: セクターでは、モジュラー型メインユニットを選択するオプションがあります。選択すると、AXIS Site Designerはメインユニットのチャンネル数に基づいて、接続するセンサーユニットを追加するオプションを自動的に表示します。センサーユニットを追加するオプションは、**[Devices (デバイス)]** または **[Maps (マップ)]** ページに表示されません。
- **エンコーダ**: エンコーダを選択すると、AXIS Site Designerは、選択したエンコーダのチャンネル数に基づいて汎用アナログカメラを自動的に追加します。**[Devices (デバイス)]** または **[Maps (マップ)]** ページで、さらにアナログカメラを指定できます。

- **スピーカー:セクター:**は、推奨されるスピーカーの数の計算を支援します。そのためには、まず必要な配置を選択し、設置高さを設定する必要があります。天井設置型スピーカーの場合はリスニングエリアを、壁面設置型スピーカーの場合は壁の長さを入力します。適合するスピーカーのリストからスピーカーを選択すると、AXIS Site Designerが必要な数量を提示します。
- **アクセスコントロール:**インターコム、ドアコントローラー、I/Oリレーモジュールを選択できます。ドアコントローラーの場合、AXIS Site Designerは自動的にドアを追加し、そこにカードリーダーや関連アクセサリを追加できるようにします。新しいI/Oリレーモジュールには、接続する拡張モジュールを追加するオプションがあります。これらのオプションは、[Devices (デバイス)] または [Maps (マップ)] ページに表示されます。
- **ウェアラブル:**装着式ソリューション用のデバイスを選択できます。選択したデバイスに基づいて、AXIS Site Designerは、互換性のあるドッキングステーションと必要なベイの数、さらにソリューションのシステムコントローラーを提案します。

帯域幅、録画、ストレージ

帯域幅の概算

AXIS Site Designerは帯域幅の概算を提供することで、最適な録画・ストレージソリューションの選択をサポートします。この概算値は、録画または表示中のカメラの平均帯域幅を表しています。

ネットワーク帯域幅の概算値は、さまざまなパラメーターに基づいています。以下は、その概算に影響を与える要因の一部です。

カメラモデル

Axisは、AXIS Site Designerで最適な帯域幅の概算値を提供できるよう、ほとんどのモデルの帯域幅のパフォーマンスを測定しています。カメラによってレンズやイメージセンサー、チップセットなどの性能が異なるため、概算値はカメラのモデルによって異なります。

シナリオ設定

カメラに使用するシナリオには、シーンの詳細部分、光条件、動きなどのあらかじめ定められた設定が付属しています。これらの設定は、必要に応じて調整できます。

また、概算値は、シナリオで選択した録画のタイプによっても変わります。動きをトリガーとする録画の場合は、動きはいつでも発生する可能性があります。一方、連続録画には、アクティビティが少ない期間の概算値が含まれます。そのため、動きによってトリガーされる録画の帯域幅の概算値は、一般的に連続録画よりも高くなります。

シナリオの詳細については、を参照してください。

複数のビデオストリーム

AXIS Site Designerは、動きをトリガーとする録画、連続録画、ライブビュー録画 (ストレージの概算値には影響しません) の最大3種類のビデオストリームの帯域幅を概算できます。帯域幅レポートに表示されるデバイスの帯域幅概算値は、これらの各ビデオストリームの帯域幅概算値の合計です。

シナリオ

Scenarios (シナリオ) は、AXIS Site Designer プロジェクトで追加したカメラに関連付けられています。これらのシナリオにはシーンと録画の情報が含まれており、カメラが必要とする帯域幅とストレージの概算に役立ちます。

各プロジェクトに対し、**Indoor scenario - Retail (屋内向けシナリオ - 小売店舗)** と **Outdoor scenario - Parking (屋外向けシナリオ - 駐車場)** の2つのデフォルトシナリオが用意されていますが、必要な数だけシナリオを作成し、設置サイトに合わせて定義することができます。

シナリオ設定

シナリオでは、以下の設定を定義することができます。



シーンの設定

- **シーンのタイプ**
設置サイトがデフォルトの小売店舗や駐車場のシーンと異なる場合は、別のシーンを選択できます。**Perimeter (敷地周辺)**、**Busy station (混雑した駅)**、**Pedestrian zone (歩行者天国)** など、さまざまなシーンが用意されています。選択したシーンは、あらかじめ屋内向けまたは屋外向けに定義されています。シーンを表す画像はロケーションを示しています。
- **照明条件**
各シーンには既定の光条件があります。シーンの光量レベルや、明るいと思われる時間帯、暗いと思われる時間帯を調整できます。
- **動きの予想とシーンの詳細**
各シーンには、動きの予想とシーンレベルの詳細があらかじめ定義されています。例えば、**Retail (小売店舗)** のシーンは、**Perimeter (敷地周辺)** のシーンよりも混雑していると考えられ、より多くの動きと詳細を含むようにあらかじめ定義されています。必要であれば、録画の設定で動きの予想を編集することができます。

録画の設定

- **ビデオストリーム**
ビデオストリームの録画設定は、動きによるトリガー録画と連続録画の2種類に定義できます。ライブビューを表すストリームもあります。ライブビューストリームはネットワーク帯域幅の概算に含まれますが、ストレージの概算には含まれません。各ビデオストリームでは、以下を調整できます。
 - **スケジュール**
各ビデオストリームの録画をアクティブにするタイミングを定義できます。録画にはスケジュールを使用したり、常に録画するように設定したり、録画をオフにすることができます。ライブビューでは、基本的には、ストリームをネットワーク帯域幅の見積もりを含めるかどうか、含める場合はそのタイミングを定義します。
 - **動きの予想**
各シーンには、明るい時間帯と暗い時間帯に対して、動きの予想があらかじめ定義されています。✔ を使って設定を表示し、スライダーを使って [Motion in scene (シーン内の動き)] と [Parts of scene moving (シーンの一部が動く)] を調整します。
 - **カメラの設定**
各ビデオストリームについて、カメラのフレームレート、解像度、ビデオコーデック、圧縮率を調整できます。
- **音声**
お使いのカメラが音声をサポートしている場合、録画とライブビューに音声を含めるかどうかを選択できます。
- **Zipstream**
Zipstreamの設定を調整したり、完全にオフにしたりすることを選択できます。
- **ストレージ**
録画の保存予定日数を調整できます。デフォルト値は30日に設定されています。

追加設定

- **帯域幅の制限**
プロジェクトのネットワーク帯域幅に対する予想値がすでにわかっている場合は、シナリオで最大ビットレートを設定できます。このオプションは、特定のカメラのシナリオを編集するとき使用できます。シナリオページの上で記号  を見つけ、 をクリックして最大ビットレートを設定します。

シナリオとスケジュールの作成と編集方法の詳細については、[こちら](#)を参照してください。

カメラ固有のシナリオ

プロジェクト内のカメラは、常にシーンと録画の設定を指定する単一のシナリオに関連付けられています。複数のカメラで同じシナリオを使用できます。必要に応じて、他のカメラの設定を変更せずに、特定のカメラのシナリオを編集することができます。

例:

屋内向けシナリオ - 小売店舗

- **動きによるトリガー録画:** スケジュールは**常時**に設定されます
- **連続録画:** スケジュールは**オフ**に設定されます。

カメラ1、2、3は、「屋内向けシナリオ - 小売店舗」を使用しています。そこでカメラ2のみ、常に連続録画をオンにしたい場合は、[**Devices (デバイス)**] に移動し、カメラ2をクリックしてそのシナリオにアクセスし、カメラ2のシナリオのみを変更します。シナリオを編集し、連続録画 (continuous recording) の設定を **Always (常時)** に変更します。このとき、カメラ1と3のシナリオ設定には影響はありません。

さらに、屋内シナリオを変更して動きによるトリガーのスケジュールを [**Office hours (営業時間)**] に設定したいとします。3台のカメラすべてのスケジュールを変更するには、[**Project overview (プロジェクトの概要)**] にアクセスして、そのシナリオを変更します。

シナリオとスケジュールの作成と編集方法の詳細については、を参照してください。

録画とストレージ

AXIS Site Designerの [**Recording (録画)**] ページは、プロジェクトに最適な録画ソリューションの選択に役立ちます。現在、Axis、Genetec、およびMilestoneから録画ソリューションを選択できます。推奨ソリューションには、サーバーやSDカードなどの記録デバイスに加え、ビデオ管理システム (VMS)、電源装置、ネットワークデバイスも含まれます。

録画ページの**プロジェクト要件概要**に、ストレージ容量、ビデオチャンネル、ライセンス、帯域幅、PoE電力、PoEポートに関する要件の詳細が記載されています。推奨される録画ソリューションを選択した後、概要で要件に対する適合状況を即座に確認できます。プロジェクトに変更を加えた場合や、ソリューションをカスタマイズした場合も、要件を満たしているかどうか簡単に確認できます。

プロジェクト要件の詳細	
ストレージ	該当のシナリオで指定した期間中のすべてのデバイスを含む、プロジェクトに必要なストレージ容量の推定値を指します。AXIS Site Designerは、プロジェクトのストレージ要件をネットワークビデオレコーダーまたはSDカードの利用可能なストレージ容量に合わせて調整します。詳細については、を参照してください。
チャンネル	プロジェクトに必要なビデオチャンネル数を指します。録画ソリューションの推奨では、このチャンネル数要件を使用してデバイスを適切なネットワークビデオレコーダーに適合させます。
ライセンス	プロジェクト内のデバイスに必要なVMSライセンス数を指します。使用するVMSによっては、ライセンス数要件はデバイスごと、またはIPアドレスごとに異なる場合があります。 AXIS Audio Manager Proを含む録画ソリューションでは、 ライセンス は、VMSライセンスと音声ライセンスの両方を表します。

プロジェクト要件の詳細	
	必要なライセンスに関する詳細は、選択した管理ソフトウェアのドキュメントを参照してください。
使用帯域	プロジェクト内のすべてのデバイスにおける、1秒あたりの推定ビットレートを指します。ネットワークビデオレコーダーを使用する録画ソリューションの推奨では、AXIS Site Designerは推定帯域幅をレコーダーの録画ビットレートに適合させます。
電源	プロジェクト内のデバイスが必要とするPoE電力の推定量をワット (W) 単位で示します。この要件は、スイッチ機能を内蔵するネットワークビデオレコーダー、またはネットワークスイッチによって満たすことができます。デバイスにミッドスパンが付属している場合、またはすでにそのデバイス用のアクセサリとしてミッドスパンを選択している場合、そのデバイスの要件はプロジェクト要件から除外されます。
ポート	プロジェクトに必要なPoEポート数を指します。この要件は、スイッチ機能を内蔵するネットワークビデオレコーダー、またはネットワークスイッチによって満たすことができます。

録画に関する注意事項

ネットワークビデオレコーダー

AXISネットワークビデオレコーダーを含む推奨では、利用可能なストレージはオールインワン型のRAID設定 (RAID 5) に基づいています。AXIS Site DesignerはAxisハードドライブも推奨ソリューションに追加できます (レコーダーがこのオプションに対応している場合)。

追加のハードドライブ

ハードドライブの容量は、メーカーによって10進数単位 (TB) で表示されます。1TBは1,000,000,000,000バイトに相当します。一方、オペレーティングシステムはストレージを2進数単位 (TiB) で表示します。1 TiBは1,099,511,627,776バイトに相当します。その結果、オペレーティングシステムに表示される使用可能な容量は、表示されているドライブ容量よりも常に小さくなります。ドライブがRAIDアレイに組み込まれると、RAIDレベルに応じて、パリティ、ミラーリング、その他のオーバーヘッドにより、使用可能な容量がさらに減少します。

メーカーの容量 (TB)	オペレーティングシステムが表示する容量 (約 TiB)
4TB	3.64 TiB
8TB	7.28 TiB
12TB	10.91 TiB

注

プロジェクトに追加のハードドライブが追加されると、デフォルトのRAIDレベルは再計算されません。追加のドライブは、デフォルトのRAID容量に追加される独立したストレージとして扱われます。

SDカード

AXIS Site Designerは、各デバイスのストレージ要件が1枚のSDカードで満たせる場合に限り、AXIS Surveillance Cardsを使用する録画ソリューションを推奨します。デバイスが1枚のカードで提供できる容量を超えるストレージを必要とする場合、SDカードは推奨されません。

AXIS Surveillance Cardsの詳細については、axis.com/products/edge-storage を参照してください。

総所有コストレポート

監視システムのコストは、取得時の初期コスト、運用に関連するコスト、システムの運用停止にかかるコストなど、いくつかの段階に分けることができます。初期費用を見積もるのは比較的容易ですが、長期にわたる費用を見積もるのは非常に難しくなります。総所有コスト(TCO)モデルに基づく分析は、システムのライフサイクル全体のコストを分類して見積もることに役立ちます。

Axis SiteDesignerでは、TCOシミュレーターを使用して、運用年数全体でのプロジェクトのコストと経費削減を見積もることができます。このシミュレーターは、カメラやサーバーのコスト、必要なエネルギーやストレージのコストなど、AxisのTCOモデルの主要な側面にフォーカスしています。このシミュレーターは、お客様が使用されているAxisソリューションと他のソリューションを比較し、長期的に削減できるコストを見積もることができます。得られた結果は、オーバービューまたは印刷可能なレポートとして見ることができます。

重要

TCOシミュレーターとそれが生成するレポートは、Axis TCOモデルの一部に基づいています。このモデルの詳細については、axis.com/about-axis/quality/total-cost-of-ownershipをご覧ください。

TCOシミュレーター

TCOシミュレーターには以下のパラメーターが含まれています。

プロジェクトパラメーター	
エネルギーコスト (通貨単位/kWh)	そのプロジェクトのカメラとサーバーの1kWhあたりのエネルギーコスト。通貨単位はプロジェクトの所在地に基づいています。
運用年数	TCOレポートのベースとなる運用年数。デフォルトでは7年に設定されています。
冷却要素	サーバーの冷却が必要な地域向け。サーバーが使用するワット数とともに増加します。

カメラ	
カメラコスト	販売見積書に記載された見積価格に基づく、プロジェクトのカメラにかかるコスト。
エネルギー消費量 (年間)	カメラの通常年間消費電力に基づく値。
エネルギーコスト (X年間)	運用期間中のデバイスのエネルギー消費にかかる推定コスト。

サーバー	
必要ストレージ	プロジェクトに必要なストレージの概算に基づく値。
サーバーコスト	販売見積書に記載された見積価格に基づく、プロジェクトのサーバーにかかるコスト。
エネルギー消費量 (年間)	サーバーの通常年間消費電力に基づく値。

サーバー	
冷却電力消費量 (年間)	1年間のサーバー冷却に必要な電力に基づく値。
エネルギーコスト (X年間)	運用期間中のサーバーのエネルギー消費にかかる推定コスト。

比較

簡単に使用できるこの比較機能により、ご使用のAxisソリューションと他のソリューションを比較し、コストの内訳を2つの棒グラフで表示することができます。

他のソリューションのパラメーターを調整するには、カメラのコスト、カメラのエネルギー消費量、必要なストレージの値をスライダーで変更するか、または手動で変更します。

他のソリューションのエネルギー消費量とストレージ要件のデフォルト値は、市場における一般的な値に基づいています。

注

アクシスコミュニケーションズでは、独立した第三者試験機関とともに、当社のカメラを市場にある同様のデバイスと比較して継続的に評価しています。これらの試験では、消費電力やビットレートなど、さまざまな要素を調査します。市場における一般的な値は、これらの評価結果を総合したものです。

トラブルシューティング

マップとフロアプランのアップロード	
PNG、JPG、JPEGファイル	ファイルサイズを確認してください。最大許容サイズは10 MBです。
PDFファイル	<p>PDFファイルをアップロードしたときに画像のプレビューが表示されない場合は、ビューワーでPDFを開き、A4やA3などの小さい用紙サイズを使って新規PDFで印刷してみてください。</p> <p>PDFファイルはアップロード時にPNG形式に変換されますが、PDFの用紙サイズが大きい場合、仕上がったPNGはフロアプランの制限10MB、またはストレージ制限2GBを超える可能性があります。</p>

プロジェクトを読み込んでいます	
プロジェクトの読み込みに時間がかかりすぎる	<p>以下のように対処してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークを確認してください。 大規模なプロジェクトが多数ある場合は、すぐにアクセスする必要のないプロジェクトをアーカイブします。詳細については、を参照してください。

帯域幅の概算	
帯域幅の見積もりが正しくない可能性があります。	<p>Axisは、ほとんどのモデルで帯域幅性能を測定し、可能な限り最良の見積もりを提供しています。モデルによって機能が異なるため、帯域幅の見積もりも異なる場合があります。</p> <p>さらに、一部の古いカメラは測定されておらず、一般的なカメラモデルに基づくデフォルト推定値が使用されています。</p>

リリースアーカイブ

2025年5月～6月

- プロジェクトの整理に役立つフォルダーを追加できるようになりました。詳細については、[を参照してください](#)。
- 新タイプのレポートを追加しました。総所有コスト（TCO）レポートには、TCO計算のためのシミュレーターが含まれています。これにより、カメラやサーバーのコスト、必要なエネルギーやストレージも考慮されます。また、Axisソリューションと他のソリューションを比較し、削減コストの概算をオーバービューで確認することもできます。詳細については、[を参照してください](#)。
- map view (マップ表示) でデバイスのリストをソートできるようになりました。



このビデオでは、AXIS Site Designerの最新リリースの更新内容の概要をご紹介します

2025年4月

- マップビューでの作業をより簡単にするキーボードショートカットを追加しました。詳細については、[を参照してください](#)。
- 必要なAXIS Camera Station Cloud Storageライセンスの数を計算機を使用して判断できるようになりました。クラウドストレージを選択すると、**録画**ページに計算機が表示されます。

2025年1月～3月

- デバイスの概要に、デバイスのデータシートやaxis.comの製品ページへのリンク、技術仕様を含む表など、より多くの情報が含まれるようになりました。
- また、測定ツールにもいくつかの改善が加えられています。マップやフロアプラン上の1つ以上のポイント間の距離を測定でき、最終ポイントでの合計距離と、途中の各ポイント間のサブ測定値も取得できるようになりました。
- プロジェクト特別価格設定のリクエストがさらに簡単になりました。Axis/パートナーWebへの必要なアクセス権があれば、プロジェクト特別価格設定のためにプロジェクトを送信するときに、部品表 (BOM) を自動的に含めることができます。詳細については、[を参照してください](#)。
- 最後に、既存の2つのプロジェクトを統合することが可能になりました。詳細については、[を参照してください](#)。



このビデオでは、2025年1月から3月までのAXIS Site Designerの更新内容の概要をご紹介します

T10131344_ja

2025-11 (M19.3)

© 2019 – 2025 Axis Communications AB